

近代英語協会第35回大会

開催日：2018年6月23日（土）

場 所：京都大学 吉田キャンパス 文学部第3講義室
〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町
Tel.075-753-2736（家入研究室）

受付開始	8:50		
開会の辞	9:20-9:25	会長 元関西外国語大学教授	菊池繁夫
開催校挨拶	9:25-9:30	京都大学教授	家入葉子
シンポジウム	9:30-11:30		
『英語話法に関する史的研究の課題と展望』			
		司会：広島大学教授	今林 修
「古英語文献における直接・間接話法」		講師：東京女子大学教授	小倉美知子
「中英語韻文に見る話法の意味論—『トロイラスとクリセイデ』を中心に—」		講師：福山大学教授	中尾佳行
「近代英語期における話法の諸問題」		講師：広島大学教授	今林 修
休憩	11:30-12:15		
総会	12:15-12:45		
研究発表			
第一部	12:50-14:10		
		司会：法政大学教授	椎名美智
1. 「Emma の自由間接談話における音調の解釈」		大分県立看護科学大学准教授	宮内信治
2. 「Jane Austen の英語における comment clause について」		成蹊大学教授	田辺春美
休憩	14:10-14:20		
第二部	14:20-16:20		
		司会：明治大学教授	柴崎礼士郎
1. 「John Winthrop (1588-1649)の do 迂言用法—ジャンル別の用法分析から—」		京都大学大学院生	福永真理子
2. 「エリザベス一世による『詩論』の英訳—訳文の言語的特徴と解題の試み—」		四国大学助教	平 歩
		司会：三重大学教授	西村秀夫
3. 「大母音推移再考」		筑波大学名誉教授・聖徳大学名誉教授	藤原保明
休憩	16:20-16:30		
特別連結講演			
第一部	16:30-17:30		
“Sound and Style of <i>Confessions of an English Opium-Eater</i> by Thomas De Quincey”			
		司会：京都大学教授	家入葉子
		講師：京都大学名誉教授・関西外国語大学名誉教授	豊田昌倫
第二部	17:30-18:30		
“Spehk thuh speech uh preh yuh: Shakespeare’s Original Pronunciation”			
		司会：愛知県立芸術大学非常勤講師	糸山陽子
		講師：English actor, author, and producer	Ben Crystal
閉会の辞	18:35-18:40	事務局長 尾道市立大学准教授	平山直樹
懇親会	19:00-20:30	会場：吉田食堂（京都大学吉田キャンパス吉田南構内）	